

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171200332		
法人名	有限会社 太陽		
事業所名	グループホームひまわりの郷		
所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字寄人1997-1		
自己評価作成日	令和1年9月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和2年3月5日	外部評価確定日	令和2年3月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

年齢層が高くなり、激しい運動などが出来なくなってきましたので、個別性を重視し、残存機能の維持を注視した介護の実践を行っています

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

田園風景が広がり閑静な場所にある事業所で、一人ひとりの入居者のペースを大切に考えられている。本人や家族の意向は勿論、入居者の気持ちに寄り添い、必要なサービスを提供できるように日々話し合いをされている。経営者や管理者が近隣に住んでいることもあり、地域住民との関わりも深く地域に認められている施設となっている。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	常に理念を念頭に置きながらケアを行っています。また、毎朝勤務者全員で理念の唱和を行い、意識の継続を行っています	事業所独自の理念には、地域との関わりが組み込まれている。その理念通り、地域との関係性は非常に良好で地域に根ざしている。 理念は事業所の入り口や事務所に掲示され誰もが閲覧確認することができるようにされている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	経営者が地域の住民であり、近隣とのつながりが多く、近所付き合いの中で経営されている施設である	地域の方が散歩されている際に休憩をされて行かれたり、収穫された野菜を届けて頂くこともある。地域の行事は回覧板で情報を確認し、希望があれば参加できるように工夫されている。また、法人として地域の除草活動にも参加し、地域との関係性を構築されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の中で経営されているため、地域の会合などにも参加し、介護への理解を得ています	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政、地域の役員等の参加により、意見の交換を行い、様々のアドバイスなども頂ける中でサービスの向上に努めています	地域包括支援センターの職員や区長、民生委員が会議に参加されている。技能実習生を受け入れる際にも、地域で協力し支えて頂けるようにアドバイスをもらうなど施設運営についても取り組まれている。 5月には家族会を同時に開催し、家族の意見も集約されている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	ケアマネージャー連絡協議会への参加やグループホーム連絡協議会への参加、各種研修への参加を通じて、関係を深めている	身体拘束や感染症など行政が開催する研修に参加し伝達講習を行い施設運営に反映するように取り組んでいる。また、あんしん相談員を活用しサービスの向上に繋げている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会の設置により、定期的に学ぶ場を作り、行政に報告を行っている	身体拘束の事例はなく、帰宅願望がある方には散歩に行くなど柔軟な対応をしている。一人ひとりの状況に応じたケアを提供している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束委員会の中で同時に学んでいます		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修にて学んでいますが、実践は現在のところありません		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に管理者が本人様、ご家族様に説明を行いご理解の上、契約を行います		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	当施設は、毎月の入金、現金でのお支払をお願いしていますので、必ず入居者様の状態を御家族様に伝えるようにしています、また、変化があるときや面会時にも必ずご家族様に連絡を取って対応しています	玄関に意見箱を設置。面会時に日ごろの様子を直接伝えることで家族との関係性を構築され意見も直接聞くことで対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝の申し送り時や担当者会議、ミーティングなどにて意見交換をしている。施設長の個人面談も行っている	ケアの在り方を必要に応じて話し合い、情報を共有することで、現時点で必要なケアを提供できるように心掛けてある。職員の在籍期間も長く話し合える関係性ができている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談を行い、意見を聴く機会を持っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修への参加や、ミーティングなどにより、知識を高めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会等の参加により、情報を得る機会を持っている		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設見学時から、情報を受け、本人様の思いを受け入れるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	関連施設からの転居が多いため、情報がとりやすくなっているが、他所からの入居希望の場合は入居前より、会話を多く持ち、ご要望に添えるように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	多くの方が、今、現在困られていることに着目し、そのことの解決に重点を置いています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	地域性もあり、仲間意識の多い方が多く、家族的な付き合いが来ています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様との連絡が密に出来ています、また必ず月1回以上はお会いする為信頼関係も築きやすくなっている		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣の方の面会などがあり、自室にてお話しされたり、他の方に話しかけられたりされ、地域性が高い	訪問の理美容室を利用することも可能であるが、家族対応であれば行きつけの店に行くこともできる。近所の方々も来所され馴染みの関係や社会性も保たれている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に同じ空間の中で、家族のように一緒に生活されているので、いつの間にか、顔なじみになっておられる		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要時には相談に応じています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	高齢者が多くなかなか、自分の意見も言えなくなっておられるが、日ごろの暮らしの中で些細な変化にも着目し、ご本人様の思いを把握し、思いに沿った介護が出来るように努めている	日々のケアの中での小さな変化に心掛け、以前の生活スタイルなどの情報と結び付け一人ひとりの生活リズムを形成している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に情報収集に努めている		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別性を重視し、出来る事に視点を当てたケアプランを作成し実践しています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議及び面会時の家族の要望などを勘案したケアの実践に努めている	入居者毎に担当を決め、6か月に1回のペースで話し合いの場を持ちサービスの提供を検討している。また、本人や家族の意向を確認し介護計画に反映し説明と同意をもらうようにしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の継時記録を行い、またケアプランの記録なども同時にスタッフ全員で行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来る限りは、状況により検討を行う		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	生活保護を利用している方の書類作成などを実施している		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月2回の協力医の往診を中心に、関連医療施設への受診や、家族による通院支援などを行い、緊急時の対応なども行っている	かかりつけ医への受診は可能であるが家族の対応となる。協力医療機関とは日頃より連携を密にとり対応している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が常勤の為日ごろより、信頼関係が出来ており情報の共有も出来ている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	看護師が必要な対応を行い必要時は関連医療機関への連絡なども実施している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に看取りの説明を行い同意を得ているが、身体状況の変化に伴い、その都度、家族への、連絡や医療機関との連携など常に行っている	契約時より終末期の意向を確認し、協力医療機関と連携をとり対応できる。家族の宿泊も対応可能で看取り時には職員の人員配置を増員して対応する場合もある。重度の医療行為が必要な場合は病院での対応となる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師と共に経験の中でスタッフも成長し、応急処置が出来るようになっている		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月1日に防災チェックを行い、年2回の防災訓練も実施している	消防訓練には地域の消防団の参加もあり、居室には色別のリボンを付けることで移動方法がわかるようになっている。毎月1回、火災などを予防する観点から埃が溜まっていないか確認もされている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	信頼関係の中で、家族のように対応しているので、入居者様も安心して生活しておられる	得た情報とケアを結び付け個別の対応をすることで入居者との関係性を構築している。必要な介助には職員が対応し入居者のペースで生活できることで尊厳を守るケアを提供されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	高齢になり、意志を伝える事がなかなか困難になられている方が多くなりましたが、表情や動作などの多くの情報により、対応しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個別性を重視した介護の実践を目指して日々、努力しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人様の思いを把握するように心がけています		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	皆さんに「今、一番の楽しみはなんですか」と問いかけると多くの人が「ご飯が楽しみ」と言われるほど食事が生活の多くを占めておられますので、希望に添えるように努めています。また、準備も出来るだけ一緒に出来る方はされています	毎日献立を決め行事食の際には入居者の意向を反映させることもできる。食事形態も個別に対応し柔軟な対応が可能。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	糖尿病の方の食事や、キザミの必要な方等、個別に対応しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に全員の口腔ケアを実施し、就寝前に義歯を預かりポリドントなどにて清潔保持に努めています		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	高齢者の方が多くなっていますので、リハビリパンツが必要な方が多くなってきましたが、出来るだけ、使用時期を遅くし、また、夜間のみ使用などを行い、トイレへの誘導なども多くしながら長く布パンツで生活できるように支援しています	排尿チェック表を活用しパターンを把握することで誘導している。夜間帯のみオムツやポータブルトイレを使用する場合がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日中の運動や、水分補給を重点的に行い必要時はヨーグルト、繊維性食品、便秘薬の対応など行っています		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	現在、週3回、(月、水、金)の入浴を実施、必要時はシャワー欲を行っている	状況に応じて他の曜日に入浴は可能であるが、基本は月、水、金に入浴する。介助量が必要な方についても工夫し入浴できるように検討されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個別性を重視しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が基本的に管理、準備を行っているが、スタッフ全員が入居者様に提供しているため、全員がカルテなどを見ながら提供出来ている。また内容が変更する時には、申し送りが出ている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個別性を重視し、出来る事に視点を当てたケアプランを作成し実践しています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	天気の良い日や季節感の感じられる、花の鑑賞等散歩の機会を持ち、地域や関連施設の大きなお祭りなど外出の機会を持っている。家族との外出なども支援している	年間の外出行事を計画し対応している。晴れた日などは近所に散歩へ出かけることもあり、つくしやフキノトウなどを採取し料理するなどの楽しみも提供している。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、自分でお金を所持している方はおられません、施設にてお小遣いを預かり、お買い物やお賽銭等必要時に使用しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要時には支援します		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	おなじフロアの中にすべてがあり、動線が判りやすくなっているため、出来るだけ長く、ご自分で移動できるようになっている、田園の中にあるため、周りの騒音もなく落ち着いた環境の中で生活されている	共有スペースではレクリエーションを実施できるスペースを確保し、他者との交流するスペースやテレビの前でくつろげるようにソファを配置し個人の時間を過ごすこともできる。レクリエーションで制作した作品なども掲示され明るい雰囲気になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人一人の居室がありますが、皆さん、フロアで生活される事が多く、安心する場になっていると思われます		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様の意志やご家族様の要望などにより、なじみの物を持ってきていただいています	持ち込み制限はなく、タンスやソファなどを持ち込まれている。ベッドを配置しているが、生活スタイルに合せ布団で変更することもできる。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個別性を重視し、その人に合った居室の位置などを考慮しています		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない